

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 210-0865
 住 所 神奈川県川崎市川崎区千鳥町13番2号
 氏 名 サンケミカル株式会社
 代表取締役社長 本庄 政昭
 (代理人 取締役工場長 久保山 道雄 印)
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	サンケミカル株式会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区千鳥町13番2号		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	16	化学工業
主たる事業 の内容	ポリウレタンフォーム原料、洗浄・香粧品原料などの製造		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	3,249	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	環境保安課
		所在地	川崎市川崎区千鳥町13番2号
		電話番号	044-276-1811
		FAX番号	044-277-8246
		メールアドレス	
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成22年度 ～平成24年度 (報告年度 平成24年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 6,953 t-CO ₂ (調) 6,953	(実) 7,663 t-CO ₂ (調) 7,663	(実) 7,727 t-CO ₂ (調) 7,727	(実) 8,217 t-CO ₂ (調) 8,217	(実) 8,020 t-CO ₂ (調)
削減率		(実) -10.2 % (調) -10.2 %	(実) -11.1 % (調) -11.1 %	(実) -18.2 % (調) -18.2 %	(実) -15.3 % (調)

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の 活動量	生産数量		単位	t-CO ₂ /t	
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量 原単位等の値	0.08612	0.08673	0.09314	0.1123	0.08354
削減率		-0.7 %	-8.2 %	-30.4 %	3.0 %

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	省エネルギー活動による温室効果ガスの削減を図ったが、生産量増加により温室効果ガスの排出量は10.2%増加した。なお生産に係る原単位は生産工程の改善など実施したが-0.7%悪化した。（排出係数反映での原単位は0.0829で削減率は3.7%良化した。）
第2年度	生産量が基準年度比で2.74%の増加となったこと、及び生産品のプロミックスの変化で蒸気使用量が増加したことによるエネルギー使用原単位の8.2%の悪化により温室効果ガスの排出量は基準年度比11.1%増加となった。
第3年度	CO ₂ 排出量は平成24年1月に蒸気量購入メータの過少が判明し、それを修正したので30%増加した。この結果、CO ₂ 排出量は18.2%増加の8,217 t-CO ₂ になった。この蒸気の30%の修正がなかった場合は、6,306 t-CO ₂ の排出量で基準年度比9.4%減少した。排出の量に係る原単位では修正がなかった場合は0.08621となり基準年度比1%の原単位悪化となった。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第 1 号、 第 2 号、 第 4 号該当者等)	計 画	<ul style="list-style-type: none"> ○推進体制の整備 ○主要設備等の保安全管理 ○エネルギー使用量等の把握、計測、記録の管理 ○加熱等を行う設備の負荷管理 ○廃熱回収の実施 ○新設、更新時に高効率な機器の採用（空調機、インバータ）
	第 1 年度	<ul style="list-style-type: none"> ○推進体制の整備 EMS 推進委員会と省エネルギー推進委員会をリンクして温室効果ガス削減に取り組んだ。 ○生産工程改善を行い電気・熱エネルギーの削減を行った。
	第 2 年度	<ul style="list-style-type: none"> ○推進体制の整備 EMS 推進委員会と省エネルギー推進委員会をリンクして温室効果ガス削減に取り組んだ。 ○生産工程改善を行い電気・熱エネルギーの削減を行った。 ○主要設備の保安全管理：生産設備の一部更新を行い、省エネ型の設備・システムを導入した。（平成24年度も設備更新を行い省エネ型設備にする。）
	第 3 年度	<ul style="list-style-type: none"> ○推進体制の整備：EMS 推進委員会と省エネルギー推進委員会をリンクして温室効果ガス削減に取り組んだ。 ○インバータを含む省エネ効果の高い新反応槽 2 基を設置し、生産工程に自動化を取り入れ省電力を図った。 ○既存設備ではバッチ生産の各工程を見直し省エネ型の生産体制にした。また、省エネルギー型のスチームトラップへの取替えを今年度60%まで終えた。
自動車等 (第 3 号該当者等)	計 画	
	第 1 年度	
	第 2 年度	
	第 3 年度	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	なし

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	<ol style="list-style-type: none">1. グリーン購入の推進を行う。2. 廃棄物の減量化・分別化の推進を図る。3. S-T E C T M 6の取組み（温暖化ガス・化学物質の排出量削減、ごみゼロ化等）4. A B C活動（日本化学工業協会の活動で、個人生活でのCO2削減活動）
第1年度	<ol style="list-style-type: none">1. 事務用品、OA機器に対してグリーン購入の推進を行った。2. 廃棄物の減量化・分別化の推進を行った。3. S-T E C T M 6に取組んだ。4. A B C活動に取り組んだ。
第2年度	<ol style="list-style-type: none">1. 事務用品、OA機器に対してグリーン購入の推進を行った。2. 廃棄物の減量化・分別化の推進を行った。3. S-T E C T M 6に取組んだ。4. A B C活動に取り組んだ。
第3年度	<ol style="list-style-type: none">1. 事務用品、OA機器に対してグリーン購入の推進を行った。2. 廃棄物の減量化・分別化の推進を行った。3. S-T E C 25に取組んだ。4. A B C活動に取り組んだ。

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	5,761	t-CO ₂
(調)	5,761	

(2) 事業所等単位（第1号、第2号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が1,500k1以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
川崎工場	川崎市川崎区千鳥町13番2号	1632	ポリウレタンフォーム等の製造	5,761 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500k1以上1,500k1未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500k1未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500k1 未満	
300～400k1 未満	
200～300k1 未満	
100～200k1 未満	
100k1 未満	

(3) 事業所等単位（第4号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--